

適性検査Ⅰ 1

〔問題1〕 20点

「きらわれたくない」という思いから、やさしげな態度をとるだけで本当に親しく関わろうとしていないから。(50字)

〔問題2〕 30点

席をゆずることで助かるお年寄りが多いはずであり、相手がきずついたとしてもこちらが親切心から席をゆずろうとしたのはわかるはずだから。(65字)

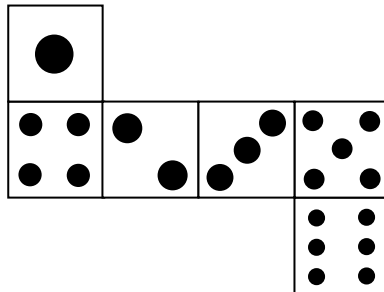
〔問題3〕 50点

(省略)

適性検査Ⅱ 1

〔問題1〕 10点

〔展開図〕



〔問題2〕 15点

〔式〕 $\boxed{4} \div \boxed{2} + \boxed{1} \times \boxed{5} = 7$

〔説明〕

⊕の前の部分と後ろの部分に着目して、和が7になる二つの数の組み合わせを考えると、2と5がある。
異なる四つの数を使って、 $4 \div 2 = 2$, $1 \times 5 = 5$ となるから。

〔問題3〕 15点

〔手前に見える二つの面の目の数の組み合わせ〕 2 と 4	〔合計〕 60
〔太郎さんが気づいたおもしろいこと〕 1の目の面を上にしたままで、さいころの置き方をいろいろ変えても、見かけ上8個のさいころの見えている面の目の数の合計は60になること。	

適性検査Ⅱ 2

〔問題1〕 6点

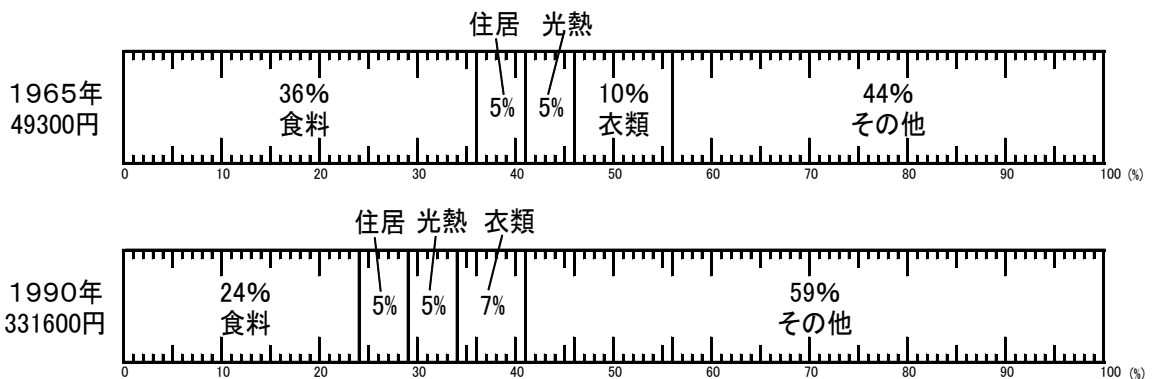
見る場所から東京スカイツリーまでのきよりが、見る場所から東京タワーまでのきよりの約2倍であるとき。

〔問題2〕 4点

〔選んだ表〕 表1
〔説明〕 東海道新幹線が通っていない都市は、東京23区、横浜市、名古屋市、京都市、大さか市といった人口が多いところである。

〔問題3〕 20点

図3



〔説明〕

図3からは、1965年から1990年までの25年間で消費支出の中で食料がしめる割合が減ったことがわかる。図4からは、この25年間で、家庭電化製品や乗用車のふきゅうが進んだことがわかる。これらの資料から、家庭電化製品や乗用車を買うなど、くらしの変化の中で食料以外のものにも多くのお金を使うようになったと読みとれる。

適性検査Ⅱ 3

〔問題1〕 10点

〔選んだ観察〕	花子 さんの観察
〔選んだ花粉〕	スギ の花粉
〔1 cm ² あたりの花粉の数〕	250 個
〔説明〕 見えているはん囲の面積は4 mm ² で、そこにスギの花粉が10個ある。 1 cm ² = 100 mm ² で、100 mm ² は4 mm ² の25倍である。 よって1 cm ² あたりの花粉の数は、10個の25倍で250個となる。	

〔問題2〕 10点

(1)	(あ) 上空のすなの量が多い
	(い) 上空のすなが高いところにある
(2)	〔選んだ図の番号〕 ①
	〔グラフの記号〕 ア

〔問題3〕 10点

〔選んだ図〕	図5
〔説明〕 図5によると、春に比べて夏は平均月こう水量が多い。 そのため、要因①のかわいたすなの量が少なくなり、日本で黄さが観測された日数が、春に比べて夏になると少なくなっていると考えられる。	
〔選んだ図〕	図7
〔説明〕 図7によると、春に比べて夏は地表でふく強い風の観測回数が少ない。 そのため、要因②のまき上げられるすなの量が少なくなり、日本で黄さが観測された日数が、春に比べて夏になると少なくなっていると考えられる。	